

会派みらい 政務調査報告

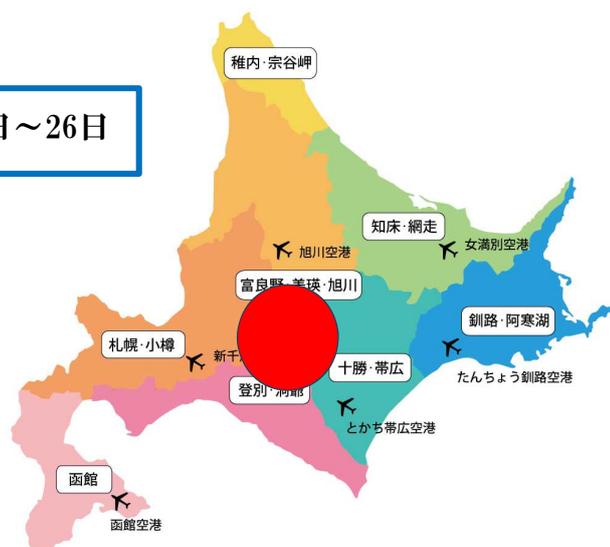
「今年度の会派の活動方針」

【政策的課題】

地域資源を活かす

1. 視察地(北海道東川町、富良野市、上士幌町)

7月24日～26日



2. 視察先

- 富良野市 「ふらの演劇工場」
劇場(文化会館)の在り方
- 東川町 「東川町 町長」
人口増加に成功した町
- 上士幌町 「MY MACHI プロジェクト」
関係人口から定住人口へ

富良野演劇工場



森に囲まれた劇場

富良野演劇工場

○視察目的

新飯田文化会館の建設に向けた検討が進むなか、演じる側、観る側の双方に配慮して建設され、特徴的な運営の劇場（富良野演劇工場）の建設、運営（ふらの演劇工房）の理念を探り、新飯田文化会館の在り方を考える。

富良野演劇工場

○概要

富良野市が建設し、NPO法人（特定非営利活動法人）で、100人のボランティアで支えられている「ふらの演劇工房」が管理・運営する全国初の公設民営劇場として、2000年10月にオープン。

富良野演劇工場

○成り立ち

設計の段階から作家・倉本聰氏やプロの照明家・音響家・俳優などが参加し、「舞台芸術の創り手のための劇場」

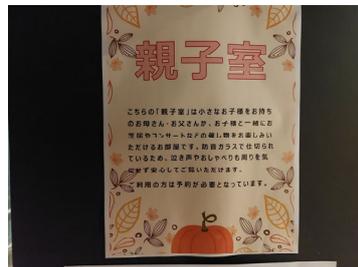
『「多目的」は限りなく「無目的」に近づく』という倉本氏のアドバイスから、演劇創作の機能に特化。

富良野演劇工場



客席(302席)より広いステージ(幅27m、奥行23m)

富良野演劇工場



富良野演劇工場

○学んだこと

- ・「**演じる人のため**」は、「**観る人(市民)のためになる**」は、劇場ホールの建設(設計)にあたって重要なコンセプトである。
- ・「工場」(劇場)の運営を担う「工房」(NPO法人)の組織、運営方法は、指定管理者としての位置付けではあるが、劇場ホールを建設後にいかに活用していくかとの視点では、「**市民が支える文化施設**」の在り方として、大いに参考になる。
- ・「工場」の建設場所は、自然環境に囲まれ芸術の創造においては最適な場所であると判断できるが(中心市街地に文化会館あり)、文化施設・芸術の鑑賞の場となると、**まちづくりや、街のにぎわいと不可分性**が考慮されることが必要である。

人口増加に成功した町

東川町



東川町役場にて

産業経済課長

菊池町長

能登議長





【上水道がない町】

大雪山系の最高峰旭岳を
水源に、全戸が天然水で
暮らす

【東川町の人口】

- 7,063人(1993年)
 - 8,589人(2023年)
- 30年間で緩やかに増加







■ インスタ映えする
コーヒー豆屋

■ 写真甲子園



「MY MACHI プロジェクト」 関係人口から定住人口へ

上士幌町



まち かみしほろ

生涯活躍の

MY MACHI

誰もが「自分であることの喜び」を感じられる生涯活躍のまち

まちの不足人材を補うため

MY MICHI



21

大人の体験留学

MY MICHI

「自分らしく」行きたい。だけど、「自分」ってなんだ？

トマル

。

だから

、

ススメル。

22

北海道十勝・上士幌町で、仲間とともに過ごす時間

MY MICHI

自分を思い出す、自分を取り戻す。

遊ぶ

学ぶ

働く

23

上士幌の目指す町民5000人総活躍の実現

MY MICHI



24

自分の可能性を生かし、町民の可能性も生かす。

MY MICHl



本当の生かし合い

25

深い関係人口づくり

MY MICHl



上士幌のみなさんにお世話になった。
だから上士幌に恩返しがしたいと思う。

26



27



の まとめのつばやき

ふらの演劇工場

最高のパフォーマンスを観客が喜びとして味わえる、新飯田文化会館も双方にとって特別な場所になればいいな

東川町

対応してくれた吉原経済振興課長が「2時間熱心な質疑で町長も喜んでいるようでした。こんな視察をしてくれるところは少ないので良かったです」と褒められました

上士幌町

若者も悩んでいるがもっと大変なのは中高年にある

ご清聴ありがとうございました



会派みらい

